

緊急情報の取得手段「いしポ」を学び、広める

厚田学園では、学校と地域住民が協力して学校運営に取り組み「コミュニティスクール(CS)」の二環として、例年、地域と保護者、学校が合同で防災訓練を実施しています。

本年度は津波発生を想定して、旧厚田小学校から厚田学園に避難したほか、緊急情報取得する手段として、スマホアプリ「石狩市行政情報ポータル『いしポ』」のインストール方法や使用方法を学ぶ内容で実施しました。

厚田学園の生徒たちは事前に、危機管理課の職員からアプリの使い方について説明を受けていました。当口は生徒たちが指導者となり、地域住民にアプリのインストール方法や使い方を積極的に教える姿が見られました。訓練後、立崎寿朗校長は「防災において自助・共助・公助の3つが大事であり、災害時には自分の命は自分で守り、みんなの命はみんなで守ることが大切である」と伝えていました。

旧厚田小学校から厚田学園に避難



ハザードマップで最寄りの避難所を確認した後、生徒たちの先導で避難所へ向かいました。

「いしポ」のインストール



事前に学習した「いしポ」のインストール手順や使い方を生徒たちが一生懸命に伝えていました。



厚田学園8年
水口 桃花 さん

スマホの使い方がよく分からないという人にも、アプリの使い方をしっかりと伝えることができました。普段は「いしポ」でヒグマ情報や観光情報などを見ることが多いのですが、ハザード

マップなども見ることで災害時には便利だと思います。

校長先生のお話にもあったように、災害時は高齢の方の支援など、地域で助け合いながら避難したいです。

あなたのスマホに石狩市からの大事なお知らせが届きます!

- 防災行政無線がない地域、聞こえにくかった地域も緊急情報を受信できます
- 災害発生時には画面が緊急モードに切り替わり、早急な避難を促します
- ハザードマップ上で、現在地から避難所などへのルート案内や、AEDの設置場所などが確認できます
- メニューボタンが大きく、誰でも簡単に操作できます
- 日本語の他、英語、韓国語、中国語(簡体・繁体)、ポルトガル語、ベトナム語に対応しています
- 文字の音声読み上げ機能も搭載しています
- 市の施設予約や観光デジタルマップなどのサービスにアクセスできます



ダウンロードはこちら



[Androidの方]
Google Play



[iPhoneの方]
App Store

※ダウンロード画面では「ライブビジョン」と表示されます

※スマホをお持ちでない方は、自宅の電話に自動で緊急情報をお知らせする

「石狩市緊急情報電話配信サービス」をご利用ください(要登録)。

複雑な登録作業はありません。登録を希望する方は危機管理課 ☎72・3190にご連絡ください

石狩 しごとと図鑑

広々とした空間で、わが家のように
ゆったり過ごせる小規模地域密着型
「デイサービスくつろぎの家」。

ここで
管理者を務める佐藤さんの仕事は、ま
ず車で利用者を迎えに行くことから始
まります。冬期間は交通状況で苦労す
るも、「地元民だから道には精通してい
ます」とにっこり。顔を覚えて待つて
いてくれることが何よりの励みと言
い、「今日は広報紙の撮影があると知っ
て、ぜひ来たいという方も。いつも以上
に早く出発しました」とうれしそうに
話してくれました。

実は、佐藤さんは元スキージャン
パー。ジュニア時代は数々の大会で優
勝し、石狩市教育委員会のスポーツ
功績賞でも表彰されています。大学
進学後も選手として将来を期待され
ましたが、膝を痛め、大学3年生の時
に現役続行を断念しました。

「大学も中退し、就職のため地元
帰ってきました。そこで真っ先に志望し
たのは介護職でした」

祖父母にかわいがられた記憶が後
押しし、自身の輝く場として迷いはな
かったそう。紆余曲折を経て25歳の
時、念願のグループホームに就職し、

介護職員 さとう まさき 佐藤正棋さん

人生の先輩たちと向き合う日々
「自分の選択は間違っていないかった」
と確信します。3年前、縁あって現
在の「くつろぎの家」へ。今では、デイ

サービス業務が周囲も認める。天
職になっていきます。「一緒にお茶を飲
んだり、マージャンをしたり、時には
お花見にも行ったり…きつと誰より

も楽しんでるのは僕。そんな時間
を大切にしながら、これからこの
仕事を続けていきたい」

誠実に向き合う佐藤さんの姿に利
用者やご家族は安心し、それが佐藤
さんの喜びとなって、より一層強い
信頼と絆を育むのかもしれない。

◆プロフィール◆

石狩市出身、32歳。紅葉山小学校、花川北中
学校を卒業後、東洋大学へ進学。小学生のころ
からスキージャンパーとして活躍。現在、ワールド
カップ海外派遣メンバーの一人である佐藤幸椰
選手は2つ下の弟。「利用者さんに冬の楽しみ
の一つとして弟のことを話すことも。結構、興味
を持ってもらえますよ!」。介護職員初任者研修・
介護福祉士実務者研修を修了。